

報告第31号

平成30年度一般財団法人宇治市体育協会経営評価の報告について

宇治市の出資法人への関わり方の基本的事項を定める条例第5条第1項の規定に基づき、平成30年度一般財団法人宇治市体育協会経営評価について、別紙のとおり報告する。

令和元年9月17日提出

宇治市長 山 本 正

31宇スポ協第50号

令和元年7月25日

宇治市長 山本 正 様

所在地 宇治市宇治琵琶45-14
宇治市生涯学習センター内

法人名 一般財団法人宇治市スポーツ協会

代表者名 会長 平田 研



宇治市出資法人自己評価報告書の提出について

宇治市の出資法人への関わり方の基本的事項を定める条例第4条第2項に基づき、次のとおり報告します。

宇治市出資法人自己評価報告書

1. 法人の概要

団体名	一般財団法人宇治市体育協会	設立年月日	昭和42年6月10日
一般財団法人への移行年月日		平成26年4月1日	
基本財産	38,600千円 (移行前 38,600千円 うち市出えん・出資額 19,000千円 出資比率 49.2%)		
設立目的	宇治市内の各種スポーツ関係団体の総合団体として、スポーツの普及振興を図り、市民の体力増強と健全な精神を養い、健康で明朗な市民生活の形成に寄与することを目的とする。なお平成31年4月1日、「体育」より広い意味を持ち自発的に楽しむ「スポーツ」へと「宇治市体育協会」から「宇治市スポーツ協会」へ名称を改めた。		

2. 役職員等の状況

		平成28年度		平成29年度		平成30年度				
		市職員	市OB	市職員	市OB	市職員	市OB			
役員等	常勤	1	0	1	1	0	1	1	0	1
	非常勤	59	1	1	61	1	1	61	1	1
職員	管理職	1	0	1	1	0	1	1	0	1
	一般職	1	0	0	1	0	0	1	0	0
	計	2	0	1	2	0	1	2	0	1

*役員等と職員を兼務している場合はそれぞれ1名でカウントしている。

3. 事業の概要

主要事業名	事業内容
スポーツ大会の開催・参画	<ul style="list-style-type: none"> 宇治市民総合体育大会の開催 平成30年5月に第52回目の総合開会式を開催 12月までの間に市内各地で24種目の競技大会を実施 京都府民総合体育大会への参加 府内全市町村(26団体)参加 宇治市全競技(17種目)参加 宇治川マラソン大会への参画 第35回大会実行委員会に参画 当日参加選手2,063名(申込2,296名)
加盟団体との連携による各種事業の実施	<ul style="list-style-type: none"> 各種目大会等補助対象事業の実施 生涯スポーツ育成事業の実施 スポーツ普及活動事業の実施
国内・国際スポーツ交流事業の実施	<ul style="list-style-type: none"> 国内交流 平成30年度は宇治市で開催 宇部市から2競技種目、役員・選手38名を受入 国際交流 宇治市太極拳協会の役員・選手団10名を咸陽市へ派遣

4. 財務状況

1) 正味財産の状況

(単位：円)

年 度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
収 益	25,321,818	24,575,415	24,182,700
収益事業収益等	4,549,651	2,984,171	2,666,299
市 支 出 金	20,772,167	21,591,244	21,516,401
人 件 費	14,929,253	15,153,620	15,248,114
事 業 費	5,842,914	6,437,624	6,268,287
費 用	26,555,666	24,678,081	24,232,963
人 件 費	15,092,394	15,154,094	15,248,673
事 業 費	11,463,272	9,523,987	8,984,290
当期経常増減額	△1,233,848	△102,666	△50,263
当期正味財産増減額	△1,233,848	△102,666	△50,263
期末正味財産合計額	43,228,751	43,126,085	43,075,822

2) 貸借対照表

(単位：円)

年 度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
資産合計	49,979,184	50,502,866	51,523,780
流 動 資 産	5,788,960	5,312,168	5,332,523
固 定 資 産	44,190,224	45,190,698	46,191,257
負債合計	6,750,433	7,376,781	8,447,958
流 動 負 債	1,160,209	786,083	856,701
固 定 負 債	5,590,224	6,590,698	7,591,257
正味財産合計	43,228,751	43,126,085	43,075,822
基 本 財 産	38,600,000	38,600,000	38,600,000
その他正味財産	4,628,751	4,526,085	4,475,822

3) 市財政支出の状況

(単位：円)

年 度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
補 助 金	17,047,227	16,869,764	17,661,681
委 託 料	2,400,000	2,400,000	2,400,000
その他(分担金等)	1,324,940	2,321,480	1,454,720
計	20,772,167	21,591,244	21,516,401
貸 付 金	0	0	0
借入金残高(期末)	0	0	0
市の債務保証残高(期末)	0	0	0
市の損失補償残高(期末)	0	0	0

4) 主要経営指標

指標	算式	平成28年度	平成29年度	平成30年度
人件費比率	人件費計÷費用計	56.8%	61.4%	62.9%
自己資本比率	正味財産計÷資産計	86.5%	85.4%	83.6%
流動比率	流動資産÷流動負債	499.0%	675.8%	622.4%
借入金依存度	借入金残高÷総資産	0%	0%	0%
借入金返済能力	長期借入金÷(減価償却費+税引後利益)	— %	— %	— %

5. 経営評価（法人自己評価）

視点	評価	コメント
目的適合性	A	市内の各種スポーツ関係団体の総合団体として市民スポーツ・生涯スポーツの普及振興と競技力の向上に向けて、各加盟団体が実施する各種事業の取り組みに対する支援をはじめ、事業の概要に記載している各種事業等を実施し、市民の体力増強と健康で明朗な市民生活の形成に大きな役割を果たしている。
効率性	A	人件費比率は平成29年度の61.4%から62.9%となった。 協会では、事務量の大きなウエイトを占める宇治川マラソン大会（実行委員会形式で実施。第35回大会決算で10,586千円）、スポーツ少年団の運営費（平成30年度決算で3,687千円）を協会の決算額に含めていないため、この二つの事業費を決算額に含めて人件費比率を試算すると44.0%となる。なお、一般事務経費等については一層の削減に努め、より効率的な運営を心掛けている。
組織運営健全性	B	平成26年度から一般財団法人に移行した。平成30年度は定款に基づき、会議は、理事会を年4回、評議員会を年2回開催し、事業計画・予算等及び事業報告・決算等について諮るとともに、定期的に監事による監査を受けている。一般財団法人への移行後、事業運営の透明性を一層高められるよう、諸規程の整備をはじめ、ホームページの刷新等により、積極的に情報の公開に努めていくことが必要と考えている。
財務健全性	B	独自の収益事業は実施しておらず、人件費を含めた事業費の74.9%を宇治市からの支出金を財源としていることもあり、財務状況は健全で安定している。 しかし、今後、より安定的な自主財源の確保のための方策を検討し、宇治市からの財源依存体質を軽減できるよう努めることが重要課題であると考えている。 なお、会計処理については、平成22年度から会計システムを導入し、より適正な会計処理を行うべく改善を図っている。

総合評価	A	<p>協会の各加盟団体では、各々組織的に整備され活発に活動を行っており、協会の各種事業についても、定款に基づき円滑に推進できている。</p> <p>また、市民総体や府民総体などその事業の性格によるところもあるが事業費の大半を宇治市からの支出金に依存している状況については、基本財産の50.8%を市民の協力を得て、独自で積み立ててきた実績を踏まえ、自主財源の確保を図る中で、所期の目的に沿って、スポーツを通じて市民生活に活力と潤いをもたらす事業等を推進していく一層の努力が必要であると考えている。</p>
------	---	---

評価の目安 A：良好である B：ほぼ良好である C：やや課題がある D：課題が多い